

○地下水に含まれる試料採取等対象物質の量の測定方法を定める件

〔平成十五年三月六日〕
〔環境省告示第十七号〕

改正 平成二十年五月九日環境省告示第四十七号
平成二十二年三月二十九日環境省告示第二十二号
平成二十六年三月二十日環境省告示第四十五号
平成二十八年三月二十九日環境省告示第三十三号
平成三十一年一月三十日環境省告示第十一号
平成三十一年三月二十日環境省告示第四十九号

土壤汚染対策法施行規則第六条第二項第二号の環境大臣が定める地下水に含まれる試料採取等対象物質の量の測定方法は、別表の特定有害物質の種類欄に掲げる特定有害物質の種類ごとに同表の測定方法の欄に掲げるとおりとする。

別表

| 特定有害物質の種類 | 測定方法 |
|--------------|---|
| カドミウム及びその化合物 | 日本工業規格（以下「規格」という。）K0102の55に定める方法 |
| 六価クロム化合物 | 規格K0102の65.2（規格K0102の65.2.7を除く。）に定める方法（ただし、規格K0102の65.2.6に定める方法により塩分の濃度の高い試料を測定する場合にあっては、規格K0170-7の7のa)又はb)に定める操作を行うものとする。） |

| | |
|--------------|---|
| クロロエチレン | 平成9年3月環境庁告示第10号（地下水の水質汚濁に係る環境基準について）付表に掲げる方法 |
| シマジン | 昭和46年12月環境庁告示第59号（水質汚濁に係る環境基準について）（以下「水質環境基準告示」という。）付表6の第1又は第2に掲げる方法 |
| シアン化合物 | 規格K0102の38.1.2（規格K0102の38の備考11を除く。以下同じ。）及び38.2に定める方法、規格K0102の38.1.2及び38.3に定める方法、規格K0102の38.1.2及び38.5に定める方法又は水質環境基準告示付表1に掲げる方法 |
| チオベンカルブ | 水質環境基準告示付表6の第1又は第2に掲げる方法 |
| 四塩化炭素 | 規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法 |
| 1,2-ジクロロエタン | 規格K0125の5.1、5.2、5.3.1又は5.3.2に定める方法 |
| 1,1-ジクロロエチレン | 規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法 |
| 1,2-ジクロロエチレン | シス体にあつては規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法、トランス体にあつては規格K0125の5.1、5.2又は5.3. |

| | |
|------------------------|--|
| | 1に定める方法 |
| 1,3-ジクロロプロペン | 規格K0125の5.1、5.2又は5.3.1に定める方法 |
| ジクロロメタン | 規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法 |
| 水銀及びその化合物 | 水銀にあつては水質環境基準告示付表2に掲げる方法、アルキル水銀にあつては水質環境基準告示付表3に掲げる方法 |
| セレン及びその化合物 | 規格K0102の67.2、67.3又は67.4に定める方法 |
| テトラクロロエチレン | 規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法 |
| チウラム | 水質環境基準告示付表5に掲げる方法 |
| 1,1,1-トリクロロエタン | 規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法 |
| 1,1,2-トリクロロエタン | 規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法 |
| トリクロロエチレン | 規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法 |
| 鉛及びその化合物 | 規格K0102の54に定める方法 |
| ^ひ 砒素及びその化合物 | 規格K0102の61.2、61.3又は61.4に定める方法 |
| ふっ素及びその化合物 | 規格K0102の34.1（規格K0102の34の備考1を除く。）若しくは34.4（妨害となる物質としてハロゲン化合物又はハロゲン化水素が多量に含まれる試料を測定する場合にあつては、 |

| | |
|--|--|
| | <p>蒸留試薬溶液として、水約200ml に硫酸10ml、りん酸60ml及び塩化ナトリウム10g を溶かした溶液とグリセリン250ml を混合し、水を加えて1,000ml としたものをを用い、日本工業規格K0170-6の6図2注記のアルミニウム溶液のラインを追加する。)に定める方法又は規格K0102の34.1.1c) (注(2)第3文及び規格K0102の34の備考1を除く。)に定める方法(懸濁物質及びイオンクロマトグラフ法で妨害となる物質が共存しないことを確認した場合にあっては、これを省略することができる。)及び水質環境基準告示付表7に掲げる方法</p> |
| ベンゼン | 規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法 |
| ほう素及びその化合物 | 規格K0102の47.1、47.3又は47.4に定める方法 |
| ポリ塩化ビフェニル | 水質環境基準告示付表4に掲げる方法 |
| 有機りん化合物(パラチオン、メチルパラチオン、メチルジメトン及びEPNに限る。) | 昭和49年9月環境庁告示第64号(環境大臣が定める排水基準に係る検定方法)付表1に掲げる方法 |